

令和4年度 第1回 学校運営協議会(定時制部会) 議事録

校名	大阪府立大手前高等学校
准校長名	杉田 真規子

開催日時	令和4年6月30日(木) 15:00~16:00
開催場所	大阪府立大手前高等学校 会議室
出席者(委員)	平野 智之、高木 学、平田 和也、西野 義裕、堀 剛士、寺村 美岐
出席者(学校)	杉田 真規子、矢野 直子、神原 優希、坂本 達也、川端 俊範
傍聴者	安田 重則、櫻井 俊介、山田 健太郎、宮出 博実、石野 靖
協議資料	令和4年度学校経営計画及び学校評価
備考	なし

議題等(次第順)

- 1 今年度の学校の状況
- 2 令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- 3 令和5年度使用教科書の選定について
- 4 その他

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- 1 令和4年度学校経営計画及び学校評価について
「承認」
- 2 令和5年度使用教科書の選定について
※教科書採択一覧表及び選定理由書について、次回の学校運営協議会で報告し承認をいただく予定である旨を説明。
- 3 その他(委員の意見・質問等)
 - (1) 就職には、一般雇用と障がい者雇用があるが、最初から障がい者雇用を受験されるのでしょうか。
 - (2) 1学年1学級でされていると思うが、いろんな多様性をもっている生徒に対する学習指導にはどんな工夫をされているか。また、キャリア教育と人権教育は重きを置いてやっており、リンクさせてやっているとお聞きしたが、ポイントとなるところはどこか。
 - (3) 御校の説明により定時制へのイメージが大分変わった。ひきこもり・不登校を経験

した方が多く来られているという説明があり、自分の認識が変わった。当課でも、引きこもり・不登校の相談業務として、地域協議会のようなものを立ち上げており、御校の参加もいただきながら、連携しているところである。つながりを大切にしていきたい。

(4) 「3 キャリア教育と人間教育の充実」のところで、1年生を対象にアサーション・トレーニングやコミュニケーションスキル向上のワークショップを1回以上[1回]実施する。とあるが、全学年でやったほうが良い。

(5) 2年次に通う生徒がいる。1年次は欠席しがちであったが、2年次からは学校が楽しいと言っている。少人数が自分に合っていたことや先生方の細かい指導により授業が楽しくなったようだ。この学校に入学して本当に良かったと思っている。これからも学校生活が楽しくなるようにしていただきたい。

(6) 今の言葉にあったようなところがこの学校の強みである。生き直し、学び直し等、いろんな形で丁寧な指導をやってこられ、見守り続けてこられたのだろうと思う。不登校を経験された中学生の方が学んでおられ、また、中高齢の方が一緒になって教室にいることでいろいろと難しいところがあったりする中であって、丁寧に当事者への指導がされてきたと思う。

主体的・対話的な学び、協同的な学びとは、授業づくりの中で、いろんな立場の人が、自然と関係性を結んで、対話したり、学んだりするような主体を育てることである。観点別評価についても、単なる評価の観点がこうであるということではなくて、そういうプロセスをつくるという意味がある。こちらでは関係づくりと観点別評価を同時に大切に進めておられると感じた。

授業が面白い、楽しいことで、授業自体が個人の居場所となって、力を蓄えていける。これらは、授業改革としてつなげるいい機会であり、いい例であると感じる。深く感銘した。

次回の会議日程

日時	令和4年11月17日(木) 17:00～(予定)
会場	大阪府立大手前高等学校 1階大会議室 及び 3・4階HR教室等